



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

教 育
企 画

建築業の人材育成と魅力向上に向けた行政の役割について

問 静岡県の事業として「WAZA チャレンジ教室」がある。単なる知識だけでなく、実感を伴った学びにつながると考える。富士宮市では導入の実績が少ないがなぜか。

部長 受入れ人数に制限があったり、料金が発生するため、導入が難しいと考えられる。



問 ジョブフェスティバルについて広報強化などのための補助金の増額の検討はできないか。

部長 この事業は、主催、企画等については商工会議所を中心として行っていると聞いている。今後については協議の中で考えていく必要があると思っている。

富士宮市の花、「フジザクラ」について

問 富士宮市のホームページによると、フジザクラを見ることのできる場所として、富士山さくらの園、田貫湖、富士桜自然墓地公園などと



あるが、現状では、市民・観光客に認識されにくい。樹名板や説明板を付けたいかがか。

部長 市の木や花、鳥は、その土地特有の動植物で、長い歴史や風土に根差したものも多く、地域資源を大切に、次世代へ継承していくためにも重要なものである。樹名板や説明板等の設置について、関係部署と協力して進めていく。



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

保健福祉
市 民

多子世帯の負担軽減について

問 出生数からも少子化が加速している中、保育料算定における第何子の数え方に課題がある。市では年齢にかかわらず生計を一にする全ての子を対象に数え、第2子は半額、第3子以降は無料とすべきではないか。

部長 保育料の算定は国の制度に準じているが、自治体により違いがあり、本市では就学前児童を対象としている。他市町の制度変更の状況を注視しながら、多子世帯の保育料負担軽減の見直しに向けて前向きに対応する。

問 富士宮市は他市と比較して第3子に保育料が発生している。制度変更の速やかな実施を。

市長 他市との比較表を見て問題を認識。システム改修を待たず、市独自の無料化施策の可能性を内部協議中。実現に向けて前向きに取り組む。

意見 非課税世帯、低所得者への手厚さが際立ち、一生懸命税金を納めているのに、子育てをしながら働く現役世代は、不平等をひしひしと感じて言葉にしている。2人目、3人目の後押しをしていただけるとのことで、お伝えしていく。



第6次総合計画における土地利用の在り方について

問 旧花鳥園跡地の活用について、規制緩和や特区制度の活用は可能か、市街化調整区域内にあるが、民間事業者提案の受け入れと地域振興の観点から、早期の活用を期待するが。

部長 同地は市街化調整区域かつ国立公園内であるが、特定の用途で開発可能。施設は老朽化しているため取り壊しを含めた民間提案も考えたい。都市計画法や自然公園法を踏まえた上で、市の方針に沿うよう検討します。